

歳入

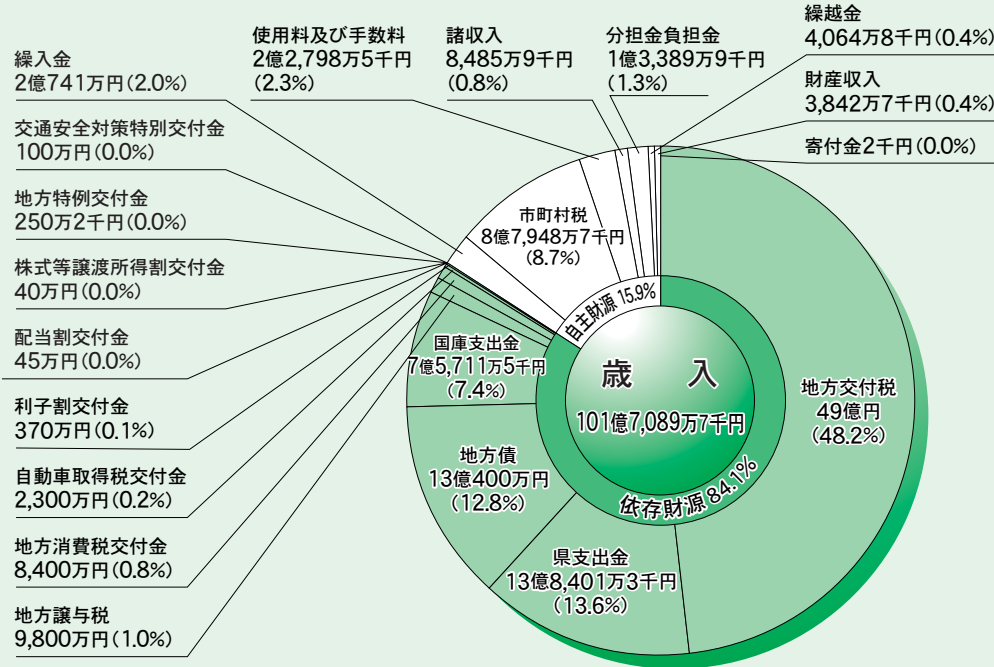
一般会計歳入予算

依存財源…85億5,818万円(84.1%)

国や県から交付される財源で、この比率が大きいほど国や県に依存している。

自主財源…16億1,271万7千円(15.9%)

町税や使用料など町が自主的に収入できる財源。



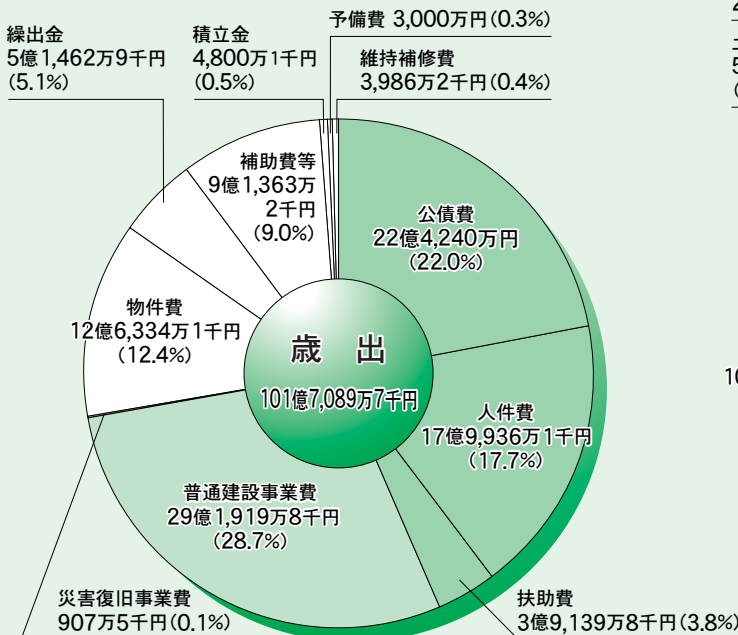
一〇一億七千八百九万七千円

平成二十二年 度 那 賀 町 一 般 会 計 当 初 予 算

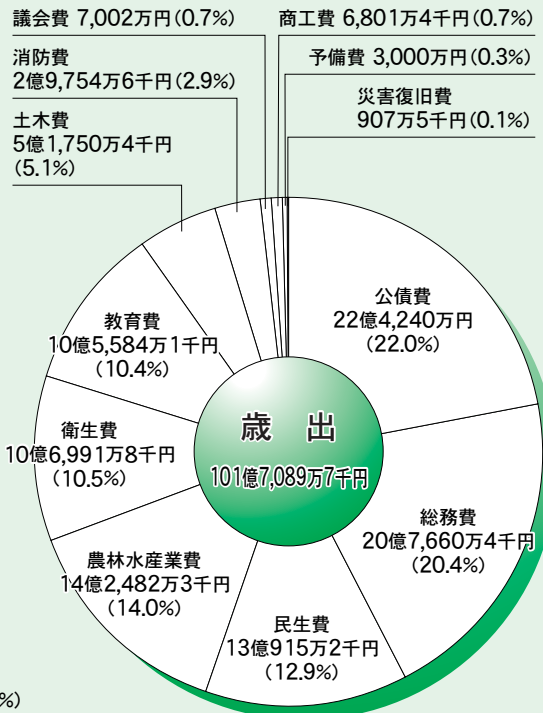
歳出

一般会計性質別歳出予算

- 義務的経費…44億3,315万9千円(43.6%)
- 投資的経費…29億2,827万3千円(28.8%)
- その他の経費…28億946万5千円(27.6%)



一般会計目的別歳出予算



特別会計予算

特別会計名	本年度予算
国民健康保険事業特別会計	13億1,553万3千円
国民健康保険診療所事業特別会計	5億1,707万5千円
老人保健事業特別会計	10万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,374万8千円
介護保険事業特別会計	12億8,560万8千円
簡易水道事業特別会計	1億2,492万3千円
集落排水事業特別会計	2億869万1千円
ケーブルテレビ事業特別会計	1億1,402万1千円
財産区事業特別会計	44万9千円
町立上那賀病院事業会計(公営企業会計)	5億8,830万円
工業用水道事業会計(公営企業会計)	2,993万5千円
特別会計合計	43億3,838万4千円

平成22年度那賀町当初予算の特色

那賀町が発足して5年が経過しました。国では、昨年夏の衆議院議員選挙により、政権が交代し、地方を取り巻く状況にも少なからず影響が予想されます。日本経済は不況からの脱却が進まず、厳しい社会経済情勢が続いています。

那賀町においても、少子高齢化の傾向は続いており、町の行財政運営には予断を許さない状況が続いています。

そうした中、本町の平成22年度の一般会計当初予算総額は前年比8.5%増の約102億円、平成21年度からの繰越事業費約30億円、合わせて約132億円の支出規模となります。

こうした予算規模の背景としては、地方経済対策として国において措置された地方交付税の若干の増額が見込まれることや平成21年度予算で措置された景気対策を目的とした第1次、第2次の補正予算による交付金を活用して、那賀町に必要な社会資本整備を予算計上したためです。

本予算の執行が、地域の雇用対策や景気対策に寄与することを強く望みます。

今年度も、行財政改革を推進しつつ、「住む人、来る人に魅力いっぱいのもち」の実現を目指し、「那賀町まちづくり計画」の推進に努めてまいります。

平成22年度当初予算における「まちづくりの主要施策」に対応するための主な事業は、次のとおりです。

なお、複数の分野にまたがる事業については、主たる分野に掲載しています。

1 自然環境に配慮したやさしいまちづくり

(1) 自然環境の保全

① 自然環境保全事業

環境美化パトロールや町内一斉清掃などにより、環境美化啓発運動を推進します。

3,685千円

2 だれもがゆとりの中で安心して生活できるまちづくり

(1) 道路、交通体系の整備・充実

- ①道路基盤整備事業 372,021千円
地域活力基盤創造交付金事業（新）や道整備交付金事業などを活用して地域の状況に応じた道路の改良・整備を進めるとともに、既存の町道の適切な維持管理に努め、通行の安全を確保します。
- ②代替バス等運行事業 69,841千円
唯一の公共交通機関であるバス路線の維持を図り、高齢者や通学者の利便性を確保します。
- ③スクールバス運行事業 41,965千円
小中学校への遠距離通学による不便性を解消するため、スクールバスを運行します。

(2) 地域の安全の確保

- ①交通安全対策事業 3,591千円
ガードレールやカーブミラーなど交通安全施設の整備を図るとともに、交通安全教育の推進により安全意識の高揚に努めます。
- ②防犯対策事業 6,914千円
防犯灯の設置により、住民の安全・安心を確保するとともに、防犯意識の高揚に努めます。

(3) 環境衛生の整備

- ①合併処理浄化槽設置事業 19,350千円
合併浄化槽の設置を促進し、生活排水からの河川環境の保全に努めます。
- ②合併浄化槽維持管理事業〈新規〉 2,000千円
合併浄化槽の法定検査の啓発向上を目指した取組を行います。
- ③汚泥再生処理センター施設整備事業〈新規〉 372,473千円
平成22年度、平成23年度の2ヵ年の計画で老朽化しているし尿処理施設の大規模改修を行います。
- ④集落排水施設整備事業 8,900千円
木頭川切地区に集落排水施設の整備に伴い処理場の整備などを行い、河川及び生活環境の保全に努めます。

(4) 防災体制の充実

- ①消防施設整備事業 3,654千円
防火水槽や消防機材などの消防設備を充実し、消防機能の強化を図ります。
- ②自主防災組織整備事業 4,000千円
町内108地区に設置された地域防災組織の活動の活性化と新たな組織の育成を行うことにより、防災意識の向上を図ります。
- ③木造住宅耐震改修事業及び簡易リフォーム改修事業 5,700千円
南海・東南海地震に備えた木造住宅の耐震化を図り、地震に強いまちづくりを推進します。

(5) 住宅・住環境の整備

- ①公営住宅維持管理事業 11,400千円
町営住宅の維持修繕工事を行い、居住環境の改善・充実に努めます。
- ②相生公営住宅新築工事設計〈新規〉 9,398千円
住宅不足を解消し那賀町への定住化を推進するため、鶯敷地区に続き、相生地区に公営住宅を建設すべく設計に着手します。



3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり

(1) 健康づくりの取り組み

- ①総合健診等実施事業 15,491千円
各種健診を実施するとともに、健康教室や健康相談を充実し、町民の健康づくりに努めます。
- ②乳児・母子健康診査事業 8,514千円
乳幼児や妊婦の健康保持のため、各種検診を行います。
- ③新生児聴覚検査事業 150千円
新生児の聴覚検査を実施し、障害の早期発見により適切な処置が講じられるようにします。
- ④不妊治療費助成事業 300千円
少子化対策の一環として、不妊で悩む人の経済的な負担を軽減するため治療費の一部を助成します。

(2) 保健・医療体制の充実

- ①医療設備整備事業〈新規〉 30,690千円
上那賀病院、日野谷診療所においてデジタルX線画像診断システムを、また上那賀病院では腹腔鏡手術器具などを整備するなど、医療設備の充実を図ります。

(3) 高齢者福祉の充実

- ①外出支援サービス事業 1,800千円
高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、タクシーを利用した外出を支援します。
- ②高齢者生きがいと健康づくり推進事業 980千円
各種の趣味講座等を開催し、高齢者の生きがいと健康づくりに努めます。

(4) 障害者福祉の充実

- ①あすなる作業所運営支援事業 6,500千円
小規模作業所のあすなる作業所やグループホームへの支援を充実し、障害のある方の生きがいと社会参加を促進します。

(5) 子育て支援の充実

- ①乳幼児等医療費助成事業 1,800千円
7歳未満の乳幼児を対象に医療費助成の現物給付を行い、子育てしやすい環境の整備に努めます。
- ②ブックスタート事業 60千円
読み聞かせによる心豊かな子育てを支援するため、0歳児に絵本を配付します。
- ③結婚・出産祝い金事業 4,900千円
結婚や出産を祝福し、若者の定住を促進します。
- ④子育て支援センター運営事業 145千円
わじきこども園における子育て支援センターにより、保護者の幅広いニーズに対応した保育サービスを提供します。
- ⑤放課後こども教室事業 3,660千円
鷺敷小学校、相生小学校、桜谷小学校及び木頭小学校において、地域の方々の参画を得て、安全・安心な子どもの活動拠点を設けます。
- ⑥子ども手当の支給 138,320千円
従来の児童手当に加えて、中学生までの子どもを対象に子ども手当を支給します。
- ⑦保育料の軽減
幼稚園、保育園における保育料を軽減し、子育てのための経済支援を推進します。
保育料軽減予想額（幼稚園500千円、保育園5,200千円）

(6) 地域コミュニティによる支え合い

- ①まちづくり協議会補助事業 6,600千円
地域におけるコミュニティ活動を促進するため、町内各地区のまちづくり協議会の取り組みを支援します。

4 みんながつくる個性と活力があふれるまちづくり

(1) 地域の特性を活かしたイベントの開催

- ①各種イベント助成事業 9,170千円
「エキサイティングサマーインわじき」や「木頭杉一本乗り大会」等のイベントや各地区の夏祭りなどの開催を支援し、「にぎわう那賀町づくり」を促進します。

(2) 交流の促進

- ①移住交流支援センター事業 659千円
体験ツアーの開催や空き家情報の発信等を行い、都市からの移住や都市との交流を促進します。
- ②特色ある学校づくり事業（中学生交流事業） 3,900千円
北海道釧路市（音別）との中学生同士の交流を行うなど、広い視野を持った青年の育成を図ります。
- ③「もんでこい丹生谷」運営協議会事業 200千円
東京周辺在住の那賀町出身者と町民との交流会を開催し、「ふるさと」とのふれあいを深めることにより町の後継者の確保と都市からの移住を促進します。
- ④地域交流センター新築工事設計事業〈新規：設計は平成21年度〉 299,166千円
住民と行政との情報交換機能の充実と利便性向上を図り、また、地域間交流を進め活力ある地域づくりを支援するため、地域交流センターを建設します。

(3) 地域内外への情報発信

- ①丹生谷応援団支援事業 500千円
徳島大学の協力を得て、町民の自主的な参加により、幅広い視点でまちの再生を目指す「徳島大学地域再生塾丹生谷応援団」の活動を支援します。
- ②移動通信用鉄塔整備事業 125,950千円
緊急・災害時の連絡手段の拡充を図るとともに、地域間情報通信格差の是正を図るため、町内2か所において、携帯電話用の鉄塔を整備します。
平成22年度整備地区（請ノ谷下地区、川俣地区）

5 すべての人の個性や創造性が生づく教育文化のまちづくり

(1) 学校環境の充実

- ①木頭小中学校統合校舎建築事業（Ⅱ期工事） 412,528千円
平成21年度に引き続き、南海・東南海地震に対応や老朽化した木頭小中学校を新築し、安心安全な学校づくりと教育環境の整備を図ります。
- ②山村留学支援事業 2,840千円
木頭北川地区で山村留学の取り組みを支援します。
- ③小中学校校舎維持修繕事業 2,758千円
各小中学校の校舎等の修繕工事を行い、安全で安心な教育環境の整備を図ります。

(2) 生涯学習の推進

- ①社会教育充実事業 7,419千円
生涯にわたる学習を支援し、文化活動の活性化や地域リーダーの育成を図るため、町内各地区において各種講座を開催します。

(3) 教育・体育・文化施設の充実及び活用

- ①文化活動団体支援事業 1,100千円
北川農村舞台及び坂州農村舞台及び川俣農村舞台での人形浄瑠璃公演開催を支援し、「国民文化祭」の成果を生かした伝統芸能の保存・継承を促進します。

6 地域の特性を活かしたさまざまな産業が育つまちづくり

(1) 地域産業の振興

- ① バイオマスタウン推進事業 112,718千円
林業の再生や雇用の拡大による町の活性化と地球温暖化対策を推進するための「バイオマスタウン構想」の具体化に向けてBTL継続調査事業や、施設の整備を行います。

(2) 農林業の振興

- ① 鳥獣害対策事業 14,373千円
農産物の鳥獣害対策に必要なネットや電気柵の設置を支援するとともに、有害鳥獣駆除捕獲委託事業や高齢化する駆除班の後継者づくりのため、猟銃免許取得に対する助成などを行います。
- ② 中山間地域等直接支払交付金事業 66,300千円
中山間地域での条件不利農地の保全を図る取り組みを支援します。
- ③ 森林環境保全整備事業 294,277千円
森林の健全な育成を図るため、計画的な人口造林や除間伐、機能増進保育等を推進します。
- ④ 里山エリア再生事業 75,765千円
森林の機能に合わせた林道や用排水施設の整備等を図ります。
- ⑤ 育成林整備事業 104,967千円
森林の機能に合わせた林道網の整備等を図ります。
- ⑥ 林業振興・活性化事業 21,469千円
間伐材の搬出や林業の担い手育成等の林業振興と活性化を支援します。
- ⑦ 農業振興・活性化事業（新規） 11,015千円
農産物のブランド産地育成や、耕地放棄地解消の促進を図ります。

(3) 商工業の振興

- ① 商工会活動支援事業 10,750千円
商工業者の経営改善資金の利子補給をするなど、合併した商工会の活動を支援します。
- ② 地域雇用創出特別交付金事業 18,135千円
厳しい雇用情勢に対処するため、ふるさと雇用事業及び緊急雇用創出事業を実施し、雇用、就業機会の確保を図ります。

(4) 観光・レクリエーションの振興

- ① 各種観光交流施設運営事業 26,161千円
交流人口や滞在客の増加を図るため、各種観光施設の運営を支援します。
- ② 観光協会運営支援事業 556千円
那賀町の観光の活性化を図るため、観光協会の活動を支援します。

延野保育園が移転しました!



四月から延野保育園が延野幼稚園前へ移転しました。新しい園舎での保育がスタートしています。また、一時保育等の未就園児への保育サービスも行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ先
健康福祉課
☎六二一―一四一

